

様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人 三和会
 ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
 ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
 ☒ その他
 ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

(2) 事務所の所在地 埼玉県久喜市桜田二丁目 6 番地 5 号

(3) 設立認可年月日 昭和 5 5 年 2 月 8 日

(4) 設立登記年月日 昭和 5 5 年 2 月 2 2 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	水原 章浩	
常務理事	阿部 賢則	
理 事	猪口 雄二	
監 事	小暮 芳裕	

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	東鷲宮病院	埼玉県久喜市 桜田二丁目 6 番地 5 号	一般病床 1 2 7 床 療養病床 3 6 床 [医療保険 1 6 3 床] [介護保険 0 床] 精神病床 床 感染症病床 床 結核病床 床

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
ケア・アシスト東鷲宮	埼玉県久喜市 桜田二丁目1番地2号	
ケア・アシスト南栗橋	埼玉県久喜市 南栗橋四丁目11番地4号	
訪問看護ステーション コスモス	埼玉県久喜市 桜田二丁目1番地2号	

(3) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 4年 6月27日 令和3年度決算の決定

令和 5年 3月24日 令和5年度の事業計画及び収支予算の決定

法人名 医療法人 三和会

※医療法人整理番号

所在地 埼玉県久喜市桜田 2 丁目 6 番 5

貸 借 対 照 表

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	1,451,869	I 流 動 負 債	1,566,005
現 金 及 び 預 金	568,171	買 掛 金	148,272
事 業 未 収 金	703,298	短 期 借 入 金	842,000
た な 卸 資 産	55,053	1 年以内返済予定長期借入金	280,052
前 払 費 用	4,498	預 り 金	17,727
未 収 入 金	123,731	未 払 費 用	108,211
立 替 金	1,050	賞 与 引 当 金	84,552
貸 倒 引 当 金	-3,934	入 院 保 証 金	34,305
II 固 定 資 産	5,085,612	未 払 法 人 税 等	44,656
1 有 形 固 定 資 産	4,974,381	前 受 金	799
建 物	3,489,340	仮 受 金	10
構 築 物	94,247	診 療 預 り 金	5,419
医 療 器 械	25,770	II 固 定 負 債	3,633,321
器 具 備 品	58,545	長 期 借 入 金	3,464,132
車 両	0	リ ー ス 債 務	24,446
土 地	1,282,031	退 職 給 付 引 当 金	140,550
リ ー ス 資 産	24,446	受 入 保 証 金	4,192
2 無 形 固 定 資 産	6,555	負 債 合 計	5,199,326
電 話 加 入 権	1,459	資 本 の 部	
ソ フ ト ウ ェ ア	2,845	科 目	金 額
そ の 他 無 形 固 定 資 産	2,250	I 出 資 金	45,000
3 そ の 他 の 資 産	104,674	II 剰 余 金	1,293,154
長 期 貸 付 金	2,635	当 期 未 処 分 利 益	1,293,154
長 期 前 払 費 用	3,738	(う ち 当 期 利 益)	(206,929)
繰 延 税 金 資 産	64,009		
出 資 金	10		
差 入 保 証 金	250		
敷 金	34,016		
リ サ イ ク ル 預 託 金	15	資 本 合 計	1,338,154
資 産 合 計	6,537,481	負 債 ・ 資 本 合 計	6,537,481

法人名

医療法人 三和会

所在地

埼玉県久喜市桜田2丁目6番5

医療法人番号

--	--	--	--

損益計算書

(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		3,923,955
2 事業費用		3,698,135
本来業務事業利益		225,820
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		229,681
2 事業費用		162,779
附帯業務事業利益		66,902
事業利益		292,723
II 事業外収益		
受取利息及び配当金	5	
患者外給食収益	3,335	
その他事業外収益	27,508	30,850
III 事業外費用		
支払利息		63,876
経常利益		259,697
IV 特別利益		
新型コロナ関連補助金	7,335	
新型コロナ設備整備補助金	6,600	13,935
V 特別損失		
固定資産圧縮損	6,599	
シンジケートローン組成費	1,100	7,699
税引前当期純利益		265,932
法人税・住民税及び事業税	64,012	
法人税等調整額	△ 5,010	59,002
当期純利益		206,929

法人名 医療法人 三和会

医療法人番号

所在地 埼玉県久喜市桜田2丁目6番5

財 産 目 録
(令和 5 年 3 月 31 日現在)

1. 資 産 額	6,537,481 千円
2. 負 債 額	5,199,326 千円
3. 純 資 産 額	1,338,154 千円

(内 訳)		(単位：千円)
区 分		金 額
A 流 動 資 産		1,451,869
B 固 定 資 産		5,085,612
C 資 産 合 計 (A + B)		6,537,481
D 負 債 合 計		5,199,326
E 純 資 産 (C - D)		1,338,154

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人 三和会
所在地 埼玉県久喜市桜田2丁目6番5

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 三和会

理事長 水原 章浩 殿

私は、医療法人 三和会の令和4会計年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 5 年 6 月 2 9 日

医療法人 三和会

監事 小暮 芳裕

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人 三和会
所在地 埼玉県久喜市桜田2丁目6番5

医療法人番号

純資産変動計算書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)

	出資金	積立金			評価・換算差額等				純資産合計
		代替基金	別途積立金	繰越利益積立金	積立金合計	その他有価証券評価差額金	繰越ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
令和4年3月31日 残高	45,000	0	0	1,086,224	1,086,224	0	0	0	1,131,224
会計年度中の変動額					0				0
当期純利益				206,929	206,929				206,929
.....					0				0
.....					0				0
会計年度中の変動額合計	0	0	0	206,929	206,929	0	0	0	206,929
令和5年3月31日 残高	45,000	0	0	1,293,154	1,293,154	0	0	0	1,338,154

1. 純資産の変動事由及び金額の掲載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
2. 評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて評価・換算差額等の合計額を、前会計年度末残高、会計年度中の変動額及び会計年度末残高に区分して記載することができる。この場合には、科目ごとのそれぞれの金額を注記すること。
3. 積立金及び純資産の各合計欄の記載は省略することができる。

金額は千円未満切捨て
合計額が不一致でも、変動計算書の金額の千円未満切捨てを記入

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

当法人は、医療法第51条第5項の規定に基づき医療法規則第33条の2により、平成31年度より医療法人会計基準（平成28年厚生労働省令第95号）を適用しております。

1 継続事業の前提に関する事項

該当ありません。

2 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産

最終仕入原価法によっております。

3 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法によっております。但し、平成10年4月以降に取得した建物（建物付属設備を除く）、平成28年4月以降に取得した建物付属設備、構築物については、定額法を採用しております。

(2) 無形固定資産

定額法によっております。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産：リース期間を耐用年数とし、残存価額を0とする定額法を採用しております。

なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が医療法人会計基準の適用により企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用を開始した令和2年4月より前のリース取引については、前々会計年度末の負債総額が200億円未満であることから、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

4 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法における貸倒引当金の繰入限度額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務を簡便法(退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法)により計算し、計上しております。

5 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

6 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

該当ありません。

7 重要な会計方針を変更した旨等

該当ありません。

8 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

該当ありません。

9 担保に供されている資産に関する事項

土地1,282,031千円 建物3,479,308千円 構築物66,998千円

10 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

該当ありません。

11 重要な偶発債務に関する事項

該当ありません。

12 重要な後発事象に関する事項

該当ありません。

13 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

事業収益には埼玉県新型コロナウイルス感染症医療提供体制支援事業補助金106,172千円、新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金18,000千円が含まれております。

有形固定資産の減価償却累計額 2,325,194千円

賃貸借処理をしたファイナンス・リース取引の、貸借対照表科目に準じた資産の種類ごとのリース料総額及び未経過リース料の当期末残高

医療器械	リース料総額	621,831千円	未経過リース料当期末残高	71,330千円
車両	リース料総額	68,963千円	未経過リース料当期末残高	32,227千円
器具備品	リース料総額	10,032千円	未経過リース料当期末残高	2,642千円

様式第五号

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人 三和会

所在地 埼玉県久喜市桜田2丁目6番5

医療法人番号

有形固定資産等明細表

資産の種類	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価却累計額又は償却累計額	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
建物	5,291,406	0	0	5,291,406	1,802,065	189,807	3,489,340
構築物	196,070	0	0	196,069	101,821	11,560	94,247
医療機器	212,459	7,628	0	220,087	194,316	10,567	25,770
器具備品	261,577	9,675	862	270,389	211,844	21,124	58,545
車両	2,740	0	0	2,739	2,739	0	0
土地	1,282,031	0	0	1,282,031	0	0	1,282,031
リース資産	26,369	10,483	0	36,851	12,405	6,357	24,446
建設仮勘定	0	0	0	0	0	0	0
計	7,272,651	27,787	862	7,299,576	2,325,194	239,417	4,974,381
無形固定資産	電話加入金	1,459	0	1,459	0	0	1,459
ソフトウェア	8,995	2,644	0	11,639	8,793	2,252	2,845
その他の無形固定資産	3,337	0	0	3,337	1,086	222	2,250
計	13,791	2,644	0	16,435	9,879	2,475	6,555
長期貸付金	4,721	71	2,157	2,635			2,635
長期前払費用	391	4,251	903	3,738			3,738
繰延税金資産	58,999	5,010	0	64,009			64,009
出資金	10	0	0	10			10
の差入保証金	250	0	0	250			250
敷金	34,211	121	316	34,016			34,016
リース引当金	15	0	0	15			15
計	98,598	9,453	3,376	104,673	0	0	104,674

医療機器の増加は手術用機器、輸液ポンプ、心電計の取得によるものです。

器具備品の増加は画像処理ユニット、内視鏡洗浄機他5台の器具備品の取得によるものです。

リース資産の増加は車両1台、医療機器3台（内視鏡スコープ3台）の新規リース契約によるものです。

ソフトウェアの増加はオンライン資格確認ソフト、画像診断ソフトの取得によるものです。

長期貸付金の減少は毎月の返済によるものです。

長期前払費用の増加は令和6年4月から令和9年9月分の火災保険料の前払によるものです。

繰延税金資産の増加は将来減算一時差異（賞与引当金、退職給付引当金）の増加によるものです。

財務諸表の減価償却費には上記有形固定資産、無形固定資産の減価償却費に長期前払費用（社宅礼金）の償却額121千円が含まれています。

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人 三和会

所在地 埼玉県久喜市桜田2丁目6番5

医療法人番号

引当金明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (その他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	4,047	3,934	0	4,047	3,934
賞与引当金	84,132	84,552	84,132	0	84,552
退職給付引当金	123,662	29,086	12,199	0	140,550

貸倒引当金の「当期減少額（その他）」欄の金額は、法人税法上の貸倒引当金の繰入限度額による洗替額であります。

1. 前期末及び当期末貸借対照表に計上されている引当金について、設定目的ごとの科目の区分により記載すること。
2. 「当期減少額」の欄のうち「目的使用」の欄には、各引当金の設定目的である支出又は事実の発生があったことによる取崩額を記載すること。
3. 「当期減少額」の欄のうち「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、減少の理由を注記すること。

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人 三和会
所在地 埼玉県久喜市桜田2丁目6番5

医療法人番号

借入金等明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期末残高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	842,000	842,000	0.9	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	361,056	280,052	1.5	—
長期借入金(1年以内に 返済予定のものを除く。)	3,744,237	3,464,132	1.5	—
その他の有利子負債				
合 計	4,947,293	4,586,184	—	—

長期借入金の貸借対照表日後5年以内における返済予定額（1年以内に返済予定のものを除く。）

1年超2年以内	218,386千円
2年超3年以内	214,996千円
3年超4年以内	205,614千円
4年超5年以内	189,832千円

1. 短期借入金、長期借入金（貸借対照表において流動負債として掲げられているものを含む。以下同じ。）及び金利の負担を伴うその他の負債（以下「その他の有利子負債」という。）について記載すること。
2. 重要な借入金で無利息又は特別の条件による利率が約定されているものがある場合には、その内容を欄外に記載すること。
3. 「その他の有利子負債」の欄は、その種類ごとにその内容を示したうえで記載すること。
4. 「平均利率」の欄には、加重平均利率を記載すること。
5. 長期借入金（1年以内に返済予定のものを除く。）及びその他の有利子負債については、貸借対照表日後5年以内における1年ごとの返済予定額の総額を注記すること。

様式第八号

医療法第51条第2項該当法人

法人名	医療法人 三和会
所在地	埼玉県久喜市桜田2丁目6番5

医療法人番号					
--------	--	--	--	--	--

有価証券明細表

【債権】

銘	柄	券面総額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
該当なし			
計			

【その他】

種類及び銘柄	口数等	貸借対照表価額 (千円)
該当なし		
計		

1. 貸借対照表の流動資産及びその他の資産に計上されている有価証券について記載すること。
2. 流動資産に計上した有価証券とその他の資産に計上した有価証券を区分し、さらに満期保有目的の債券及びその他の有価証券に区分して記載すること。
3. 銘柄別による有価証券の貸借対照表価額が医療法人の純資産額の1%以下である場合には、当該有価証券に関する記載を省略することができる。
4. 「その他」の欄には有価証券の種類（金融商品取引法第2条第1項各号に掲げる種類をいう。）に区分して記載すること。

法人名 医療法人 三和会
所在地 埼玉県久喜市桜田2丁目6番5

医療法人番号

事業費用明細書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

(単位：千円)

科 目		金 額	
I 材料費			
医 薬 品 費		304,556	
診 療 材 料 費		271,925	576,481
II 給与費			
給 料 手 当		1,690,199	
賞 与 費		183,688	
法 定 福 利 費		224,504	
福 利 厚 生 費		4,099	
退 職 給 付 費		29,086	2,131,578
III 委託費			
検 査 委 託 費		38,456	
給 食 委 託 費		92,124	
そ の 他 の 委 託 費		311,617	442,198
IV 経費			
旅 費 交 通 費		35,206	
通 信 費		8,126	
消 耗 品 費		34,192	
会 議 費		52	
水 道 光 熱 費		80,030	
保 險 料		6,540	
交 際 費		5,383	
諸 会 費		1,544	
雑 費		5,202	
図 書 費		1,015	
寄 附 金		500	
燃 料 費		7,389	
貸 倒 引 当 金 繰 入 費		-113	
減 価 償 却 費		242,014	
機 器 賃 借 料		159,578	
地 代 家 賃		30,871	
修 繕 費		6,140	
求 人 費		2,079	625,753
V その他の事業費用			
支 払 手 数 料		22,250	
公 租 公 課		62,651	84,901
事業費用計			3,860,914

独立監査人の監査報告書

2023年6月27日

医療法人三和会

会 長 阿部 賢則 殿

理 事 長 水原 章浩 殿

鈴木裕子公認会計士事務所

神奈川県横浜市

公認会計士

鈴木裕子

監査意見

私は、医療法第51条第5項の規定に基づき、医療法人三和会の2022年4月1日から2023年3月31日まで2022会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を

報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第 95 号（平成 28 年 4 月 20 日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上